

平成28年度  
要覧

# たねさし

創る

遊ぶ



挑戦



青森県立種差少年自然の家  
指定管理者 三八五グリーンネット



種差少年自然の家  
マスコットキャラクター  
「たね坊」



絵画 石橋 暢之 氏

## 種差少年自然の家とは



青森県立種差少年自然の家は、少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身ともに健全な少年の育成を図ることを目的として、青森県が昭和50年に設置し運営している社会教育施設です。

種差少年自然の家は、八戸市内から約12km南下した、三陸復興国立公園に含まれる名勝「種差海岸」に隣接しています。標高90mの小高い丘の上に建っている施設からは、雄大な太平洋が眼下に広がり、イカ釣りの季節には漁り火と満天の星空を楽しむことができます。近くの海岸には、岩礁や砂浜が広がり、磯の生物観察や魚釣り、手づくりいかだ遊びなどを体験することができます。また、周辺の野山には、山野草や秋には北限のハマギクが咲き、ニホンカモシカ、キツネ、タヌキ等の動物も生息する豊かな自然に恵まれており、四季の自然観察やハイキング等の野外活動にも最適です。

## 運営の方針



少年たちが、豊かな自然の中でのびのびと体験活動することにより、自然と人間とのかかわりを理解しながら、生きる力を養うことをめざす。

- (1) 豊かな自然体験や生活体験を通して、自然への関心を高め、生命を尊重する心と新たな感動が得られるように努める。
- (2) 集団宿泊を通して意欲的に体験できる活動を行い、互いによりよい関係を深めながら、たくましい実践力と創造力を培うことに努める。
- (3) 多様な活動に対応できるよう、環境整備と安全確保を徹底するとともに、学習機会の提供に努める。
- (4) 利用効果が高められるよう、学校・地域・各団体との連携に努める。

### 種差少年自然の家のマーク

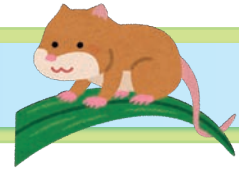


全体の形は、少年の「少」の一字を形どったものです。左右に広がる山野、眼下に見る太平洋と波、豊かな自然に囲まれた環境の中で、友情(だ円)を培い、たくましく伸びる(直線)少年の姿を象徴しています。

ぐんじょう(群青)は、海の青さを示したものです。

(図案製作者 八戸市 平川則昭氏)

# 施設概要



所在地：青森県八戸市大字鮫町字膳並平2の26  
 敷地面積：65,977㎡  
 建物面積：3,488㎡  
 宿泊定員：館内 200人(キャンプ場125人)

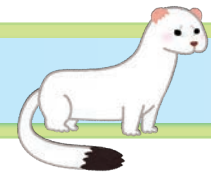
## (1) 屋内施設

棟名	1階	2階
研修棟	統括室・会議室・医務室・事務室 食堂・厨房・玄関ホール	大ホール(大研修室)・小ホール(小研修室) 自然観察室・自然観察準備室 視聴覚準備室
宿泊棟	宿泊室 11室(8人用) 2室(3人用)(車椅子使用者対応) リーダー室 1室(5人用) 宿直室・ポイラー室・シーツ室 トイレ(男女)(車椅子使用者対応) 浴室(男女)・物置	宿泊室 13室(8人用) リーダー室 1室(5人用) シーツ室・トイレ(男女)
プレーホール (体育館)		

## (2) 屋外施設

キャンプ場	キャンプセンター・炊事場かまど数24・常設テント13張(5月～10月)・貸出テント17(4×17)張 第1営火場・運動広場・トイレ(男女)
その他	つどいの広場・あそびの広場・なかよし広場・自然観察林・第2営火場

# 利用案内



## (1) 利用できる団体

指導者の引率のもとに生活体験、自然体験、創作活動、学校教育活動等で利用する次に掲げる団体とする。

- ① 各種学校(幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等)
- ② 少年団体(子ども会、児童館、PTA、ボーイスカウト、仲良しクラブ等)
- ③ 統括が認めた団体(以下の条件を満たすこと)
  - ・少年自然の家の設置目的にあった活動をする団体
  - ・集団宿泊訓練、自然体験活動、生活指導等に係る指導者の養成や研修をする団体
  - ・生涯学習の観点にたった活動をする団体

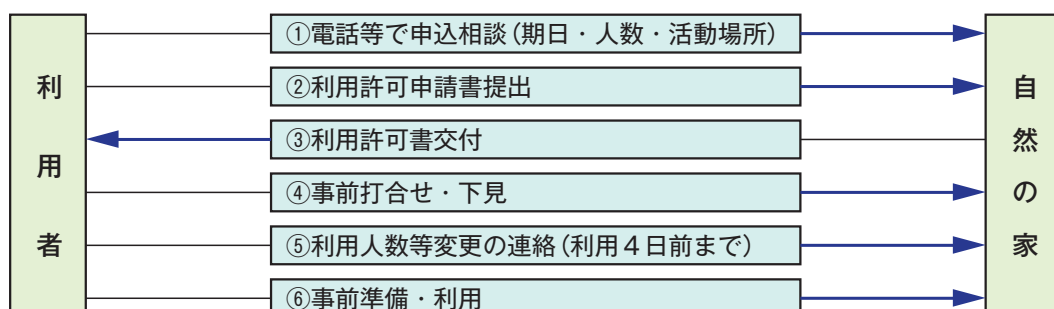
## (2) 経費

食費	朝食	昼食	夕食	計	洗濯代	館内泊(シーツ・枕カバー)	テント泊(シュラフ用シーツ)
	370円	390円	400円	1,160円			159円

※宿泊料・館内使用料は無料 ※教材費・借上げ料は実費

## (3) 休所日…年末・年始(12月29日～1月4日)

## (4) 手続き



# 活動プログラム



## ◇自然観察活動

1	磯の生物観察(磯ビンゴ)
2	星空のつどい
3	種差の植物観察
4	森探検



17. ネイチャーゲーム  
(ごちそうはどこだ)



4. 森探検(冬の森)



35. 貝殻アート



5. 磯遊び(かにつり)



44. たねさしチャレンジ



33. どんぐりアート(親子で創作)



6. タイヤチューブいかだ



## ◇野外活動

5	磯遊び(かにつり)	15	火おこし
6	タイヤチューブいかだ	16	アドベンチャーゲーム
7	スチロボールいかだ	17	ネイチャーゲーム
8	サンドクラフト	18	グラウンドゴルフ
9	追跡ハイク	19	フリスビーゴルフ
10	「種差海岸」ハイキング	20	キャンプ
11	わくわくウォークラリー	21	野外炊事(屋内炊事)
12	ビンゴオリエンテーリング	22	焼きいも
13	ナイトハイク	23	フライパンピザ
14	ボンファイヤー	24	スノーチューブすべり

## ◇創作活動

25	葉っぱのしおり
26	焼板クラフト
27	竹けん玉
28	竹とんぼ
29	ぐにゃぐにゃ凧
30	シュリンクシートのストラップ
31	ネイチャーストラップ
32	割りばし鉄砲
33	どんぐりアート
34	石ころアート
35	貝がらアート
36	動物マグネット
37	ペットボトルちょうちん

## ◇伝承文化活動

38	せんべい焼き(屋外・屋内)
39	こまの絵付け
40	昔遊び

## ◇館内活動

41	キャンドルファイヤー
42	館内オリエンテーリング
43	館内デジカメ探偵団
44	たねさしチャレンジ
45	キンボールスポーツ
46	室内ペタンク(ディスコン)



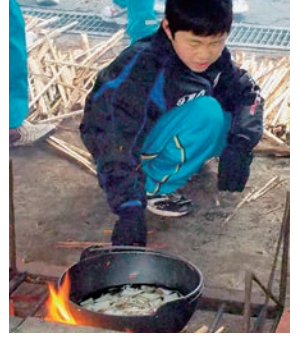
16. アドベンチャーゲーム  
(線路は続くよ)



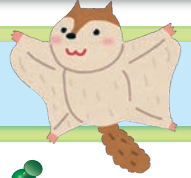
常設テント(5月~10月)



21. 野外炊事



## 生活の様子



布団たたみ



清掃



セルフサービス方式の食事



玄関ホール(自由時間遊び)



お風呂



宿泊室

## 出前講座の様子



### 活動例

- せんべい焼き(屋外・屋内)
- どんぐりアート
- 竹けん玉・竹とんぼ
- スノーチューブすべり
- 葉っぱのしおり
- 動物マグネット
- こまの絵付け
- フライパンピザ
- 焼板クラフト
- ぐにやぐにや風



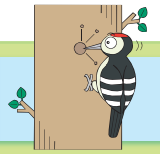
しめ飾りづくり



貝からアート



フライパンピザ



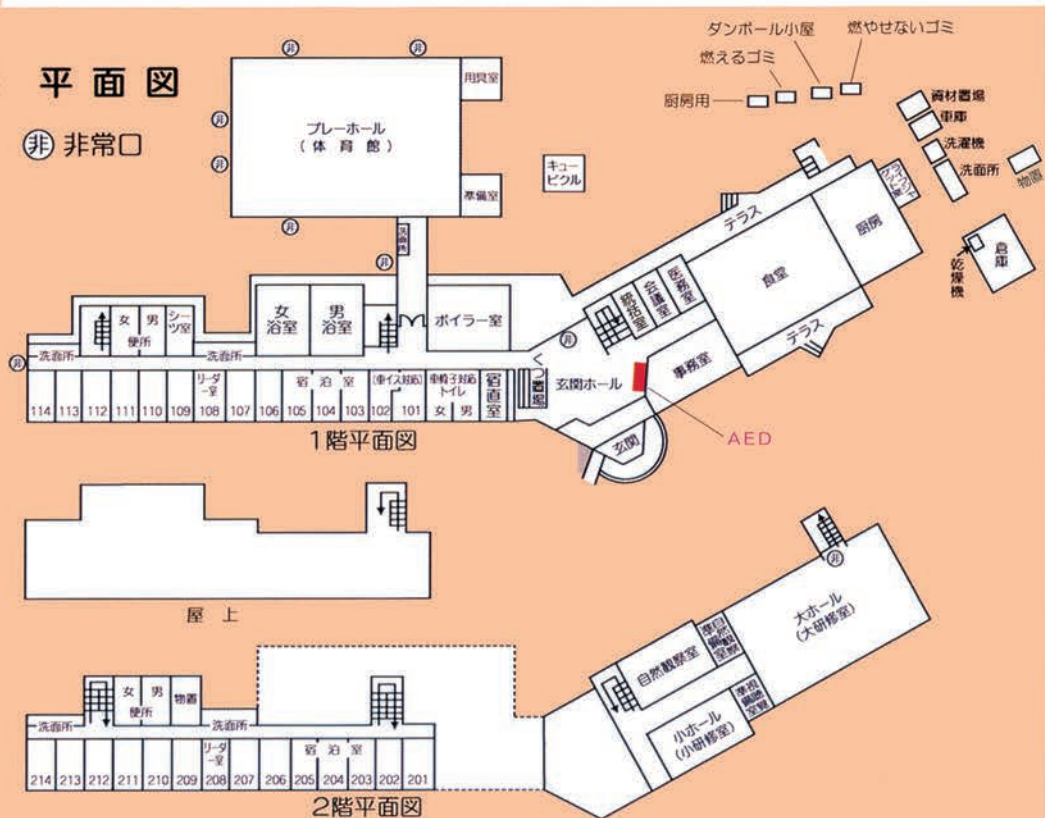
# 施設案内図

## (1) 見取図



## (2) 平面図

Ⓢ 非常口



# 主催事業



## 平成28年度 主催事業計画一覧

事業名	期日	募集人員	対象	活動内容	
在学少年宿泊指導者研修	4月18日(月) ～19日(火)	100人	小・中学校の 引率教員	・利用の仕方 ・活動日程の立て方 ・活動プログラムの実習	
子どもの 祭典	おいでよ！ サマーキャンプ	7月28日(木) ～31日(日)	30人	小5年～中3年	・テントでの宿泊体験 ・ナイトハイク ・野外炊事 ・海での活動など
	わくわくどきどき ウィンターキャンプ	12月25日(日) ～27日(火)	20人	小5年～中3年	・テントでの宿泊体験 ・冬の自然体験 ・野外炊事 ・森探検など
自然 と遊 ぼう	たねさしワールド 「春のハイキング」	5月15日(日)	100人	小・中学生と その保護者	・春の自然を楽しもう (種差海岸ハイキング)
	たねさしワールド 「エンジョイ！海遊び」 ※2回開催	①7月2日(土) ②7月3日(日)	各 100人		・海で思いっきり遊ぼう (いかだ、カヌー、磯遊びなど)
	たねさしワールド 「秋を感じて」	10月16日(日)	100人		・秋の自然をたのしもう (自然に親しむゲームなど)
	たねさしワールド 「つくって新発見」	12月4日(日)	100人		・つくって楽しもう (ミニ門松、しめ飾りづくりなど)
	たねさしワールド 「エンジョイ！雪遊び」 ※2回開催	①1月28日(土) ②1月29日(日)	各 100人	幼4歳以上の 子どもとその 保護者	・冬の自然を楽しもう (スノーチューブすべり、森の探検など)
	たねさしワールド 「こども大作戦」①	2月11日(土) ～12日(日)	40人	小3年～4年	・子どもだけでとまって楽しもう (レクリエーション、夜の冒険など)
	たねさしワールド 「こども大作戦」②	2月18日(土) ～19日(日)	40人	小1年～2年	
防災親 子で学 ぶ	「親子の絆」防災編	9月24日(土) ～25日(日)	24組 80人	小・中学生と その保護者	・いざという時の防災力を身につけよう



自然体験活動研修(ボルダリング)



親子の絆～防災編～ロープワーク



エンジョイ！雪遊び(スノークラフト&スノーチューブ滑り)



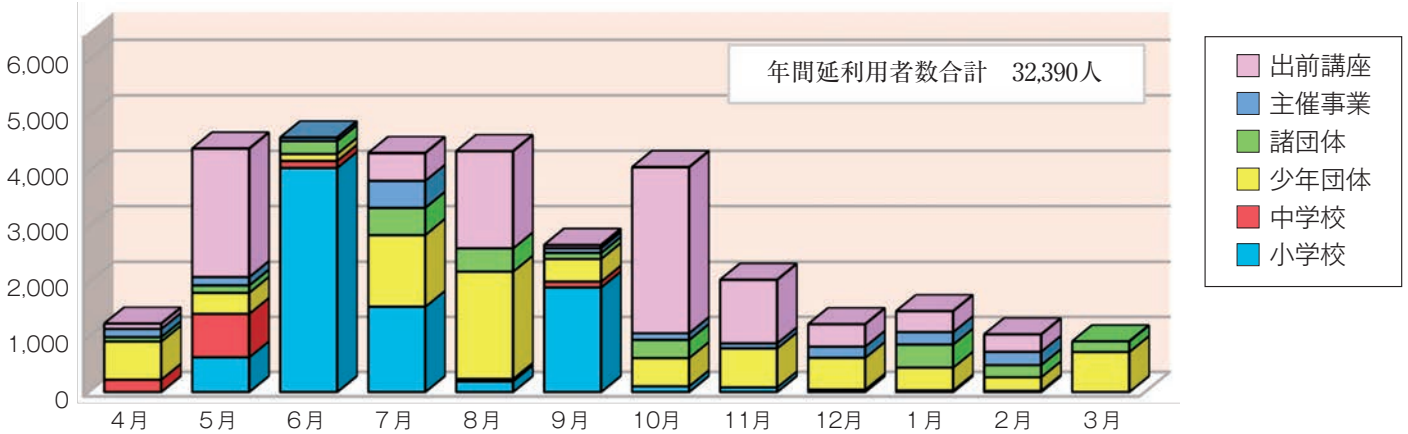
自然 体験 活動 支 援 事 業	自然体験活動研修会 【少年教育指導者の資質 向上を図る研修会】	6月4日(土) ～5日(日)	50人 程度	幼保・小・ 中学校教員 社会教育団 体関係者他	・自然体験活動についての実習 (リードクライミング&ボルダリング) ・活動プログラムの実習・体験 ・野外炊事 など
	自然体験活動出前講座 【自然の家職員が現地に出向いて支援する講座】	4月・5月 及び 10月～3月	1団体 15人 以上	三八・上北管 内の小・中 学校、青少 年団体等	・種差少年自然の家 「活動プログラム」から ※上記以外でも相談に応じます。
自 主 事 業	親子の体験活動	10月・11月	30人 程度	幼保・小学生 とその家族	・仲間づくりゲーム ・創作活動 ・野外活動等
	大人の体験活動	9月	30人 程度	成人	・野外散策 ・創作活動など

# 利用状況



## 1. 月別延利用状況

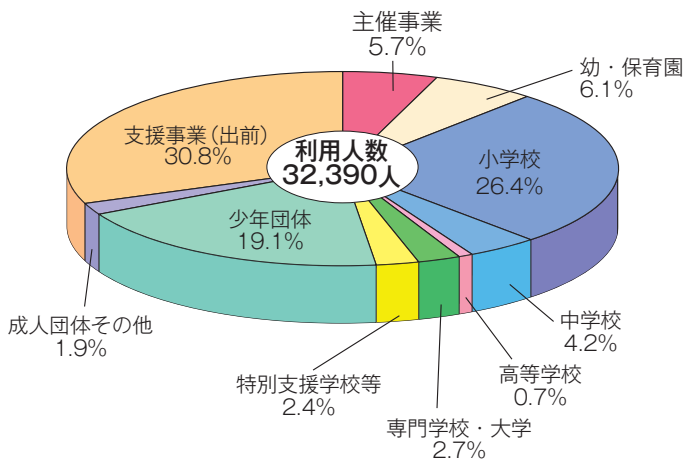
### ① 月別延利用者数



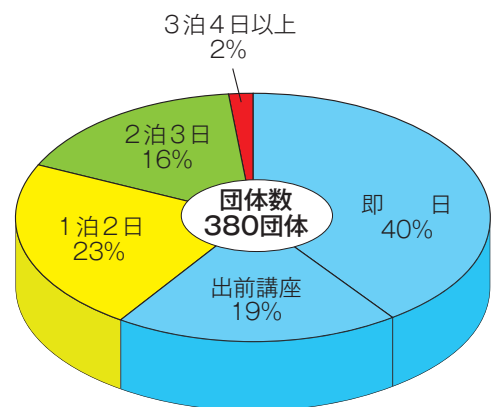
### ② 月別利用団体数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	18	31	42	44	38	28	40	36	28	34	25	16	380

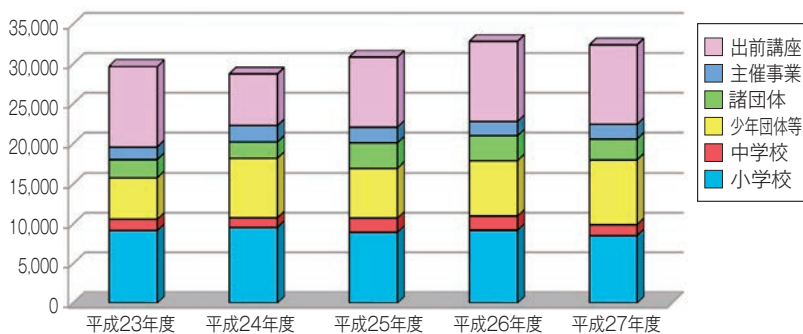
## 2. 平成27年度対象別利用状況



## 3. 宿泊日数利用状況(主催事業を除く)



## 4. 年度別利用状況(H23~H27)



(単位：人)

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
小学校	9,174	9,576	8,952	9,215	8,545
中学校	1,430	1,218	1,797	1,803	1,369
少年団体等	5,209	7,382	6,224	6,861	8,052
諸団体	2,195	2,032	3,136	3,121	2,617
主催事業	1,577	2,044	1,952	1,778	1,837
出前講座	10,108	6,491	8,797	10,049	9,970
合計	29,693	28,743	30,858	32,827	32,390



# あゆみ



- 昭和**
- 49年**  
9月 県立第二少年自然の家を八戸市に建設することを決定
- 50年**  
4月 1日 県立第二少年自然の家開設に伴い教育庁内に準備室設置  
10月25日 名称を青森県立種差少年自然の家と定める  
11月21日 所章制定  
12月 1日 青森県立種差少年自然の家設置  
初代所長 田中昌三ほか10名の職員発令
- 51年**  
1月 7日 開所式挙行  
2月27日 国旗掲揚塔・車庫・焼却炉完成  
5月19日 第1回在学少年宿泊指導者研修(～20日)  
8月 4日 キャンプセンター・トイレ・倉庫・擁壁工事完成  
宿泊棟前芝張り終了  
キャンプ場営火場完成  
8月21日 青森県立種差少年自然の家落成式  
9月14日 第1回少年団体成人指導者研修(～28日)
- 52年**  
1月21日 常陸宮・同妃殿下御成り  
9月28日 集いの広場・小公園・駐車場完成
- 53年**  
5月11日 第5回東北・北海道地区少年自然の家運営研究会当所において開催(～12日)  
9月23日 第1回夏の親子の集い「故郷の海を探ろう」実施(～24日)  
12月 1日 スケートリンク・第二営火場水飲場・屋外手洗い場完成
- 54年**  
1月13日 第1回冬の親子の集い「星の観察とスケートの集い」実施  
6月30日 進入道路舗装工事完成。国旗掲揚ポール新設  
7月 5日 外灯設備工事完成
- 62年**  
7月 研修生50万人達成  
8月26日 東北・北海道地区所長会議当所において開催(～27日)

- 平成**
- 元年**  
8月17日 第1回少年キャンプの集い「自然の中で友と語ろう」実施(～19日)
- 2年**  
8月17日 第1回子供の祭典「夢と冒険と感動を」実施(～20日)
- 3年**  
7月 キャンプ場洗面所増設・外灯2基設置
- 4年**  
9月12日 学校週5日制対応事業「シリーズ故郷の自然と文化にふれる集い」実施
- 6年**  
1月 暖房配管改修その他設備工事完成  
12月28日 「三陸はるか沖地震」発生(震度6 烈震)玄関ホール下足置場側上部コンクリート落下
- 7年**  
12月 2日 「開所20周年を祝う会」開催
- 8年**  
1月 宿泊棟・研修棟屋上改修工事完成  
4月25日 第23回東北・北海道地区少年自然の家運営研究会(～26日)  
10月 1日 キャンプ場釜場建屋完成
- 9年**  
4月 食事のミニバイキング方式開始  
12月23日 青少年野外教育推進事業「ふれあいキャンプinたねさし」実施(～26日)

- 平成**
- 10年**  
5月・8月・10月 「ファミリーキャンプ村たねさし」開設
- 12年**  
7月 第15回日本海洋少年団東北大会の会場となる
- 14年**  
2月・3月 浴室タイル改修工事・体育館屋根の塗装工事完成
- 15年**  
3月 宿泊棟窓枠・外壁等改修工事完成
- 16年**  
3月 管理棟窓枠・外壁等改修工事完成
- 17年**  
3月 管理棟・宿泊棟内部(車椅子使用者対応室・トイレ及び厨房ドライシステム化を含む)改修工事完成  
6月22日 研修生延べ利用者数100万人入所達成  
12月 3日 「開所30周年を祝う会」開催
- 18年**  
3月 プレーホール改修工事完成・受変電設備改修工事完成  
活動資材置場完成  
大研修室天井裏アスベスト除去工事完成
- 19年**  
3月 給水管等改修工事完成
- 20年**  
12月 キャンプ場トイレ簡易水洗化改修工事完成
- 21年**  
7月24日 「岩手県沿岸北部地震」発生(震度6弱)破損箇所(大ホール天井、食堂床、玄関ホール靴箱上部の壁他)
- 22年**  
9月 研修生110万人入所達成
- 23年**  
2月 給湯用ボイラー改修工事完成  
7月 1日 施設のマスコットキャラクター「たね坊」誕生  
12月 暖房用ボイラー改修工事完成
- 24年**  
3月11日 「東日本大震災」発生(震度5)、破損箇所(大ホール天井、食堂床他。津波により種差漁港スーパーハウス流失)
- 25年**  
2月 暖房用ボイラー配管全館改修工事完成  
6月12日 スーパーハウス設置完了(いかに活動用具入れ小屋)  
6月17日 自然体験活動研修会にて研修生と職員で水難救助訓練を実施  
12月25日 玄関スロープ新設工事完成
- 26年**  
2月20日 プレーホール蒸気ドレン管改修工事完成
- 27年**  
9月 研修生120万人入所達成  
12月 高圧気中開閉器等改修工事、国旗掲揚ポール改修工事、地下貯蔵タンク改修工事完成
- 28年**  
3月 非常誘導灯改修工事、厨房給湯器改修工事、ポーチ階段等改修工事完成  
7月 第2駐車場通路舗装工事、外部基礎外断熱等改修工事完成  
12月12日 開所40周年を祝う会を実施  
12月 玄関ホール天井塗装等改修工給水・給湯管改修工事、LED照明器具交換等工事完成
- 29年**  
1月 ボイラー煙突改修(アスベスト除去)工事完成  
4月 1日 三八五グリーンネットが指定管理者となる

## 職員組織

### 青森県立種差少年自然の家

統括責任者 北村 義文

運営協議会

総務課	
課長	出町 佐知子
庶務	差波 俊雄
庶務	前田 寿人
技能 (1級ボイラー技士)	鹿股 武三
技能 (2級ボイラー技士)	佐藤 幾男
技能	佐々木 良子
当直員	深川 利満
当直員	磯 嶋 榮助

研修課	
課長 (社会教育主事有資格者)	尾崎 官一
副課長 (ネイチャーゲームリーダー)	新田 隆
指導員	山内 均
指導員	梅田 久江
指導員	宮崎 洸成
指導員	石橋 恒則
指導員 (社会教育主事有資格者)	松坂 昇

調理課	
栄養士	久慈 瑛玲奈
調理責任者	庭 まり子
調理副責任者	柳 沢 れい子
調理員	林 啓子
調理員	深川 優子
調理員	桑原 久美子
調理員	二部 ゆかり

# 施設案内図



所要時間 (主な交通機関)	
八戸駅～種差海岸駅 (1日9往復・JR八戸線)	約 35分
種差海岸駅～自然の家(徒歩)	約 20分
八戸駅～自然の家(自動車)	約 40分
八戸 IC～自然の家(自動車)	約 35分
種差海岸階上岳 IC～自然の家(自動車)	約 10分

主な社会見学施設 (自然の家から)	
1 是川縄文館(国宝・合掌土偶).....	12km
2 博物館 .....	15km
3 櫛引八幡宮(国宝・赤糸威・白糸威襷取鑑).....	19km
4 水産科学館(マリエント).....	8km
5 八戸郵便局 .....	12km
6 消防署 .....	10km
7 児童科学館 .....	10.5km
8 県立三沢航空科学館 .....	36km



## 青森県立種差少年自然の家

〒 031-0841 青森県八戸市鮫町字膳並平2の26  
 ☎ (0178) 38-2131 FAX (0178) 38-2727  
 E-mail info@tanesashi.jp

<ホームページ> [種差少年自然の家](#) [検索](#)